

地域ケア推進会議

鹿児島市地域包括支援センター 鴨池南

【計画】

作成担当者： 本村 仁美

開催日時	平成30年10月11日 14:00 ~ 15:45	開催場所	鹿児島市勤労青少年ホーム
参加者	民生委員：4人、薬局：1人、介護支援専門員：1人、地域団体構成員：1人、地域包括支援センター職員：8人、地域包括支援センター職員		
	総数 15人		
内容	テーマ	・新規事業について ・平成30年度第2回 介護予防・生活支援サービス事業者協議会の報告	
	目的	新規事業についての周知と理解、地域の課題について、地域支援ネットワークの構築	
	概要	・介護予防地域ケア会議について ・介護予防把握事業について ・第2回 介護予防・生活支援サービス事業者協議会の報告 ・地域課題についての意見交換	

【結果】

開催日時	平成30年10月11日 14:00 ~ 15:45	開催場所	鹿児島市勤労青少年ホーム
参加者	民生委員：4人、薬局：1人、介護支援専門員：1人、地域団体構成員：1人、地域包括支援センター職員：8人		
	総数 15人		
内容	<p>【検討内容】</p> <p>包括鴨池南の介護保険報酬や内訳の報告を行ったうえで、今年度より始まった介護予防地域ケア会議と介護予防把握事業の報告を行った。また、助け合い活動啓発チラシの説明後、高齢者人口、介護保険給付費増加のグラフの推計年が比較しにくいとの意見がある。</p> <p>また、意見交換においては、宇宿商店街で認知症サポーター養成講座を開催しており、講座を受けた方の反応や感想をお聞きした。認知症以外でも、宇宿商店街では健康に関する勉強会などを今後も積極的に開催する予定であり、開催日時などを教えて頂く。また、認知症や介護などの問題は、介護保険を利用するだけではカバーできない部分が多々あり、カバーできない部分を地域の方でどのようにして支えていく必要があるか、意見交換を行う。</p> <p>検討していく中で、地域の民生委員や町内会の役員を担う後任が不足している事が、大きな課題として上がった。地域に住む一員として、どのようにして地域の活動に興味を持ってもらうか、仕事をしながら定年制度が引き上げられる動きの中で、地域の役員をどのようにして確保していくか等の問題点が上がった。また、高齢者の問題に限らず、災害時の対応についても議論が上がり、開設避難所の通知手段や、開設時の役割分担や受け入れ態勢に対する問題点が議論された。</p> <p>一方で、認知症の養成講座には多くの住民の参加があったり、認知症見守りメイトの登録が約600人近くあり、認知症や助け合いの場が次第に周知されてきている事もあり、きっかけや情報提供があることで、地域住民の行動や興味に繋がっていく可能性も模索できた。また学校や企業などの興味や理解も増えてきており、共生社会の実現に向けて、学校や企業、施設や地域等の横のつながりの重要性を、参加者全員で認識した。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい事業の内容を理解して頂くことができ、介護予防把握事業等を周知することができた ・それぞれの地域での取り組みや活動を知る事で、問題点や成果を共通理解する事ができた ・学校や企業などで、認知症を理解する為の活動の場や取り組みが少しずつ増えてきている事が分かった 		
今後の課題など	<p>・認知症の支援を行う上で、地域や企業、施設や学校等の横のつながりをどう展開していくか、介護や認知症に対する興味や理解を深める為に、どのようなアプローチの手段があるのか、検討していく必要がある</p> <p>次回第3回地域ケア推進会議：1月ごろ開催予定</p>		